

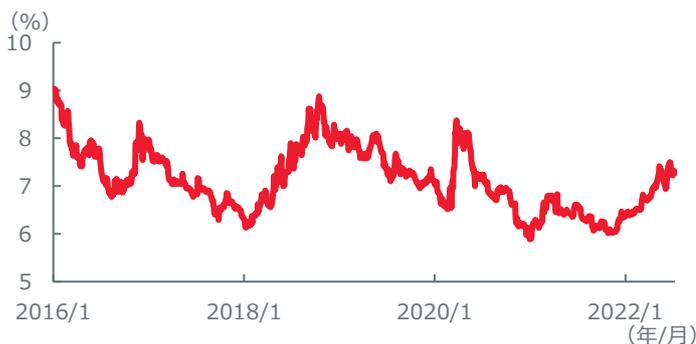
(対象期間：2022/7/4～2022/7/8)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年7月8日)

【株式市場】

4日のインドネシア株式市場は世界的な景気後退懸念の高まりから大幅下落となり、特に金融、テクノロジー、パーム油関連株などの下落が目立ちました。5日はニッケル価格の回復などを背景にニッケル鉱業株などが上昇し、株式市場は反発しました。6日は政府がパーム油の輸出枠を拡大する方針を示したことを受けてパーム油価格が大幅に下落し、パーム油関連株にけん引される形で株式市場も下落しました。6-7日は米ドル高の不服感、テクノロジー株や銀行株などが堅調となり続伸しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/7/1	2022/7/8	変化率
6,794.33	6,740.22	-0.80%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年7月8日)

【債券市場】

投資家のリスク回避姿勢が強まる中で5日に行われた国債入札の応募額は前回を下回り、特に国内投資家からの応募額の減少が顕著となりました。低調な入札結果を受けて利回りは上昇（価格は下落）しました。6日は株式市場や通貨ルピアが弱含む中、前日の利回り上昇を受けて国内投資家からの買いが見られました。特に10年国債に強い需要がみられ利回りは低下しました。7日に発表された6月末時点の外貨準備高は約1,364億米ドルと4か月ぶりの増加となりました。7-8日の利回りは小動きとなり、10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/7/1	2022/7/8	変化幅
7.264	7.274	+0.010

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年7月8日)

【為替市場】

世界的な景気後退懸念が意識される中、商品価格や株式市場の下落を受けてルピアは上値の重い展開となりました。週の半ばにかけては、株式・債券市場からの外国人投資家の資金流出や、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて政府がジャカルタ首都圏の活動制限（PPKM）のレベルを上げたことなどが嫌気され、ルピアは下落傾向となりました。7日に発表された6月末時点の外貨準備高の増加や世界的な米ドル高の不服感を受けて、週末にかけてはルピアの買戻しの動きが見られました。インドネシアルピアは前週末比対米ドルで下落、対円では上昇しました。

2022/7/1	2022/7/8	変化率
0.9058	0.9072	+0.15%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。